

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

白上下水第0619002号  
令和 5年6月19日

大分県知事 佐藤 樹一郎 殿



提出者

住 所 白杵市大字白杵72番1  
氏 名 白杵市長 中野 五郎  
電話番号 0972-63-1111



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	白杵終末処理場
事業場の所在地	白杵市大字板知屋字大寺浦
計画期間	令和5年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	下水道終末処理場
②事業の規模	
② 従業員数	9名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	初沈汚泥 ⇒ 重力濃縮 ⇒ 消化 ⇒ 脱水 ⇒ セメント材料 終沈汚泥 ⇒ 遠心濃縮

## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

白杵市長 (廃棄物処理統括責任者)



上下水道課 (産業廃棄物管理担当)



現場管理責任者 (委託管理会社)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	排出量	7,961 t	t
	(これまでに実施した取組) ・消化槽により、減量化を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	排出量	14,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も、消化槽により減量化を図る。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	7,051 t	t
	(これまでに実施した取組)  ・脱水機により減量化を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	12,800 t	t
	(今後実施する予定の取組)  ・今後も脱水機により減量化を図る。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全 処 理 委 託 量	910.0 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	910.0 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)  ・セメント原料として再生利用している。		

## (第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全 処 理 委 託 量	1, 200 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1, 200 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  ・今後もセメント原料として再生利用を行う。		
※事務処理欄			